

バイオセラピー学科 履修モデル

コース	種畜・緑化関連産業	人間植物関係関連 企画・管理、教育普及職	植物介在療法関連	調査・自然保護・環境教育職 (植物系)	調査・自然保護、環境教育職 (動物系)	動物園・動物管理技術系職	
開講区分	概要	花や種畜の産業にかかわるため、生産技術や植物活用の知識の習得を目指す	植物を介して人、社会、環境に福祉的に貢献する企業、団体、行政の担い手育成を目指す。	園芸療法士を目指す。	植物の保護・保全にかかわるため、多様な植物の知識習得を目指す。	野生動物管理、調査、自然解説員、自然系 NGOなどをを目指す。	高度な専門知識と技術が必要な、動物取り扱い業を目指す。
総合教育科目	人間関係科目	文化人類学 生命倫理 科学と哲学	科学と哲学 芸術	文化人類学 生命倫理	文化人類学 生命倫理 科学と哲学	文化人類学 生命倫理	
	社会関係科目	現代社会の諸問題 経済入門	現代社会の諸問題 国際関係を考える	現代社会の諸問題 国際関係を考える	現代社会の諸問題 国際関係を考える	経済入門 現代社会の諸問題	
	自然関係科目	生物学 化学	生物学	生物学 地学	生物学	生物学	
	課題別科目	食料生産と自然環境 特別講義のうち1科目	食料生産と自然環境 ハイテク/ロジックと生活 環境と人間	食料生産と自然環境 特別講義のうち1科目	食料生産と自然環境 特別講義のうち1科目	食料生産と自然環境 特別講義のうち1科目	
	英語科目	TOEIC英語(一) TOEIC英語(二) ビジネス英語 インターンシップ	英会話(一) 英会話(二) インターンシップ	英会話(一) 英会話(二)	TOEIC英語(一) TOEIC英語(二) ビジネスマナー	TOEIC英語(一) TOEIC英語(二) インターンシップ	
学部専門教育科目	専門共通科目	環境科学 生物化学 知的財産論 動物園論	環境科学 動物園論 健康福祉概論 心理学概論	動物園論 健康福祉概論 心理学概論	環境科学 知的財産論 動物園論	動物福祉 知的財産論 環境科学 動物園論 健康福祉概論 心理学概論	
	創生型科目		実学的生命活用	実学的生命活用			
	学際領域科目	植物生理生態学 自然再生技術論 農業と生態系 植物生長調節論 民族植物学	植物生理生態学 自然再生技術論 地球環境政策論 農業と生態系 民族植物学	植物生理生態学 自然再生技術論 植物生長調節論 民族植物学	植物生理生態学 自然再生技術論 地球環境政策論 農業と生態系 民族植物学	地球環境政策論	
学科専門科目	専門基礎科目	生物統計学 生物保全学 生物環境関係法規 遺伝学	生物統計学 子どもの発達と生き物 ポランティア論 人体生理学	ポランティア論 生物保全学 人体生理学 子どもの発達と生き物	生物統計学 子どもの発達と生き物 生物保全学 生物環境関係法規 遺伝学 ポランティア論	生物統計学 子どもの発達と生き物 生物環境関係法規 遺伝学 人体生理学 家畜生理・生体機構学 家畜行動心理学 生物保全学	
	専門コア科目	植物育成管理論 植物形態・分類学 植物地理学 園芸植物活用法 社会園芸学 都市園芸学 野菜・草花の育て方 果樹・樹木の育て方 ハーブの育て方	植物育成管理論 植物形態・分類学 野菜・草花の育て方 果樹・樹木の育て方 ハーブの育て方 園芸植物活用法(二) 園芸植物活用法 社会福祉概論 生物介在療法評価法	植物育成管理論 植物形態・分類学 野菜・草花の育て方 果樹・樹木の育て方 ハーブの育て方 植物地理学 植物介在療法(二) 園芸植物活用法 リハビリテーション医学概論 社会福祉概論 療法の場の設計 生物介在療法評価法 看護・介護概論	植物育成管理論 植物形態・分類学 野菜・草花の育て方 果樹・樹木の育て方 植物地理学 植物形態・分類学 園芸植物活用法 ハーブの育て方 社会園芸学 都市園芸学	世界の動物 動物形態・分類学 伴侶動物ブリーディング論 家畜管理論 家畜栄養学 心理臨床・教育と動物 野生動物生態学	
	他学科(畜産学科)科目					実験動物学 飼科学 家畜疾病学 家畜飼養学(一) 家畜衛生学(一) 家畜繁殖学(一) 動物解剖学	
植物介在療法特別カリキュラム							

コース	伴侶動物関連企業職 管理・販売・飼育責任者を目指す	福祉・医療関連分野 福祉・医療・社会教育関連分野における動物活用のプランナー、実施責任者をめざす。	公務員 各種技術職および行政職公務員をめざす。	農業科教員 高校の農業科教員を目指す。	理科教員 中・高校の理科教員を目指す。	進学 研究職はもとより、各分野でより高度で専門的な職業をめざす。	
開講区分	概要	伴侶動物関連企業での動物管理・販売・飼育責任者を目指す	福祉・医療・社会教育関連分野における動物活用のプランナー、実施責任者をめざす。	各種技術職および行政職公務員をめざす。	高校の農業科教員を目指す。	中・高校の理科教員を目指す。	研究職はもとより、各分野でより高度で専門的な職業をめざす。
総合教育科目	人間関係科目	文化人類学 生命倫理 科学と哲学	生命倫理 科学と哲学	技術職公務員を希望する者は、職種によって必要な履修科目が大きく異なるので、指導教員とよく相談して履修してほしい。	生命倫理	生命倫理	進学を希望する者は、志望分野によって必要な履修科目が大きく異なるので、指導教員とよく相談して履修してほしい。
	社会関係科目	経済入門 国際関係を考える	日本国憲法 現代社会の諸問題		日本国憲法	日本国憲法	
	自然関係科目	生物学	生物学 数学 物理学				
	課題別科目	食料生産と自然環境 特別講義のうち1科目	環境と人間 特別講義のうち1科目	特別講義のうち2科目	農業科教員を希望する者は、教職課程科目や、ここに示す科目から教員資格取得に必要な単位数を選択すること	理科教員を希望する者は、教職課程科目や、ここに示す科目から教員資格取得に必要な単位数を選択すること	
	英語科目	TOEIC英語(一) TOEIC英語(二) ビジネス英語 インターンシップ	TOEIC英語(一) TOEIC英語(二) インターンシップ	ビジネスマナー インターンシップ	スポンサーウェルフェア(一) スポンサーウェルフェア(二)	スポンサーウェルフェア(一) スポンサーウェルフェア(二)	TOEIC英語(一) TOEIC英語(二) 科学英語
	初修外国語科目	ドイツ語、フランス語・中国語のうち1ヶ国語	ドイツ語、フランス語・中国語のうち1ヶ国語				入試科目に英語が課せられることが多いので、特に英語についてしっかり学習する必要がある。留学にはTOEFLなどのスコアが必要になるので、在学中から受験してほしい。
学部専門教育科目	専門共通科目	動物福祉 知的財産論 動物園論 健康福祉概論	動物福祉 知的財産論 動物園論 健康福祉概論 心理学概論	動物園論 健康福祉概論 心理学概論	環境科学 生物化学 動物園論	環境科学 生物化学 動物園論	
	創生型科目		実学的生命活用				
	学際領域科目	地球環境政策論	地球環境政策論 農業と生態系 生命科学	行政職や社会教育系の公務員を希望する者は、個別科目は指定しないが人間・社会関係科目や、創生型のような地域との関わりを持つ科目、および現代的課題を取り上げた科目を重視して履修	農業と生態系 農業経営学 (民族植物学)	植物生理生態学 植物生長調節論 生命科学 分子生物学 自然再生技術論	
学科専門科目	専門基礎科目	子どもの発達と生き物 生物環境関係法規 遺伝学 家畜生理・生体機構学 家畜行動心理学	生物統計学 子どもの発達と生き物 生物環境関係法規 人体生理学 家畜生理・生体機構学 家畜行動心理学 ポランティア論		家畜生理・生体機構学 家畜行動心理学 (子どもの発達と生き物) (ポランティア論) (生物保全学)	化学実験 生物保全学 遺伝学 生物統計学 (子どもの発達と生き物)	
	専門コア科目	世界の動物 動物形態・分類学 伴侶動物ブリーディング論 家畜管理論 家畜栄養学 心理臨床・教育と動物	世界の動物 動物形態・分類学 伴侶動物ブリーディング論 家畜管理論 家畜栄養学 心理臨床・教育と動物 動物介在療法(二) 介在療法動物論 リハビリテーション医学概論 社会福祉概論 療法の場の設計 生物介在療法評価法 看護・介護概論		社会園芸学 都市園芸学 野菜・草花の育て方 果樹・樹木の育て方 ハーブの育て方 園芸植物活用法 (植物介在療法(二)) (動物介在療法(二)) (社会福祉概論) (生物介在療法評価法) (心理臨床・教育と動物) (療法の場の設計)	植物育成管理論 植物形態・分類学 野生動物生態学 動物形態・分類学 伴侶動物ブリーディング論 (植物地理学) (世界の動物) (心理臨床・教育と動物)	カッコ内の科目は教員資格の要件ではないが、本学科卒業生としての特色を生かすために履修を勧める。
	他学科(畜産学科)科目	実験動物学 飼科学 家畜疾病学 家畜飼養学(一) 家畜衛生学(一) 家畜繁殖学(一)			カッコ内の科目は教員資格の要件ではないが、本学科卒業生としての特色を生かすために履修を勧める。		

注意)上記の履修モデルには学部・学科の必修科目は記載していません。